

カリキュラム

コースコード：21-21

タイトル	デジタル時代を勝ち抜くDX活用講座【名古屋】			
サブタイトル	デジタル技術とデータ分析を用いた競争優位の確立に向けて			
研修のねらい	<p>今日、企業には、成長や競争力強化のために新たなデジタル技術を活用してビジネス・モデルを再検討し、デジタルトランスフォーメーション（DX:Digital Transformation）を円滑に遂げることが求められています。</p> <p>本研修では、DXが中小企業に与える影響を認識した上で、先進的なDX事例を交えながら、自社でDXを円滑かつ迅速に進める方策について、講義・演習を通して学びます。</p>			
研修の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・DXが中小企業にとってどのような企業内の変化を生じさせるのか、その動向について学びます。 ・DXがもたらす利点を見出し、ビジネス変革のための自社における課題を整理します。 ・自社のビジネスでどのように活用するか、その手順を検討します。 			
対象者	経営者、経営幹部 ・DXの取り組み方や事例について関心のある方 ・自社におけるDX推進を検討したい方	定員	25名	
		研修期間/時間数	2021年9月7日(火)～8日(水)	
			2日	14時間
		会場	名古屋国際センター 5階 第1会議室	
受講料	22,000円			

科目構成

日付	時間	科目	内容	講師
9/7 (火)	9:50～10:00	開講式・オリエンテーション		
	10:00～11:30	デジタル技術活用の現状とDXの推進	DXを実行する上での現状と課題や、その拡大によるビジネスの変化とその影響について学びます。 ・ビジネスにおけるデジタル技術活用の変遷 ・DXによるデジタル変革の必要性	桜美林大学 教授 坂田 淳一
	11:30～13:00 14:00～18:00	DXによる自社のビジネス展開と競争優位	既存システムの刷新による企業活動でデジタル技術を用いて経営革新を成し遂げた中小企業の実例を交えながら学びます。 ・既存ITシステムの問題点把握、克服の道筋 ・DXによるデジタルビジネスの種類やパターンの理解 ・DX導入・推進に係るコストと課題 ・DX導入・推進に係る社内体制の構築 ・DX人材不足のための対応 ・中小企業のデジタル技術活用による経営革新事例	
9:30～10:30	DX展開の現状考察及び課題解決に向けた指針の追求	事前アンケートを元に受講生のDXに関する疑問を共有し、考察していきます。さらに、DXに関する知識を掘り下げ、ビジネス変革の指針を導き出します。		
9/8 (水)	10:30～12:30	先進企業事例紹介	ここでは、デジタル技術を効果的に活用し、企業変革に取り組む先進企業の実例から、DX推進のヒントを学びます。	<事例企業> 有限会社丸昇 代表取締役 安藤 明弘 PR/システム管理/戦略開発部 部長 村井 裕也 <コーディネーター> 坂田 淳一（前掲）
	13:30～16:30	自社のDX展開によるビジネス活用の検討（演習）	自社においてどのようなDX展開が可能になるか、また、どのようなDXが改善やビジネスチャンスの拡大につながるのかを、個人ワークやグループディスカッションを通して考えをまとめ、整理・発表して共有化を図ります。	坂田 淳一（前掲）
	16:30～17:30	デジタル技術活用とDXのこれから	全体の講義を通じた総括とデジタル技術活用による経営改革のあり方を解説します。	
	17:30～17:40	閉講式		

講師氏名	略歴
坂田 淳一 (さかた じゅんいち) 桜美林大学 教授	早稲田大学理工学術院大学院情報通信研究博士課程卒業、博士（情報通信工学） 中小企業総合事業団（現：中小機構）、アーサー・アンダーセン（株）、東京工業大学准教授を経て現職。専門は、情報通信工学、情報科学、データマイニング、デジタルビジネス。著作：CIO学概論（東京大学出版・共著）、イノベーションを加速するオープンソフトウェア（静岡大学学術出版・共著）他。現在、医工連携による大学発ベンチャー企業で医療機器の製造販売にも携わっている。